

銘器 松本ピアノとトランペットが
北欧に縁ある名曲の数々をお届けします!!

北欧俯瞰図

～フィンランドからスカンジナビア諸国を眺めて～

松本ピアノ コンサート

「松本ピアノ」は
日本で初めて国産の
材料を用いて手作りされた
とても希少なピアノです。
創始者・松本新吉は君津出身。
趣のある松本ピアノの音色を
アンサンブルBの演奏と
ともにお楽しみ
ください。

太田恭史 トランペット

群馬交響楽団首席トランペット奏者。
千葉県生まれ。東京音楽大学を卒業
の後、フィンランド国立シベリウス音楽
院に入学。在院中にクオピオ市立交
響楽団(フィンランド)首席トランペッ
ト奏者、フィンランド放送交響楽団副
首席トランペット奏者を歴任。2008年
より現職。
トランペットを、佐藤宗男、林昭世、ポ
ール・メルケロ、ヨウコ・ハルマンネの
各氏に師事。



鎌倉亮太 ピアノ

北海道教育大学大学院修士課程
修了。フィンランド国立シベリウス
音楽院へ留学。2006年札幌市民
芸術祭大賞、2013年NHK旭川放
送局賞、三浦洋一賞、2019年道
銀芸術文化奨励賞を受賞。



ピアニスト、指揮者として活動の幅
を広め、ピアノ協奏曲の弾き振り、

オペラコレペイトウアなど活動は多岐に渡る。昨年5月には、札幌
交響楽団とラヴェル作曲ピアノ協奏曲を共演。

指揮者としては、北海道二期会、札幌コンサートホール kitara 主催オ
ペラ等で指揮を務め、PMF2019 プレミアムコンサートにおいて C. エッ
シェンバッハ指揮の下、マーラー作曲交響曲第8番「千人の交響曲」
の合唱指揮を務めた。

現在、札幌大谷大学芸術学部音楽学科准教授。

2023

5/5(金祝) 開場 13:30
開演 14:00

全席自由 1,000円 当日券 1,200円

君津市民文化ホール 大ホール

◆未就学児の入場はご遠慮ください ◆無料駐車場830台完備
◆車椅子席をご利用の方は君津市民文化ホールまでご連絡ください

演奏予定曲

シベリウス 樹の組曲より「もみの木」作品75-5
シベリウス ロマンズ 変ニ長調 作品24-9
シベリウス 悲しきワルツ 作品 作品44 ほか

※都合により出演者・曲目等を変更する場合があります

文化ホールのホームページからチケットが購入できます!「松本ピアノコンサート」の をクリック!

問合せ:君津市民文化ホール tel.0439-55-3300 <http://www.kimibun.jp/>

★★本公演のチケットのご予約・購入窓口は君津市民文化ホールのみとなります★★

君津市出身の松本新吉が生んだ「松本ピアノ」



松本新吉

君津市常代出身の松本新吉が明治33年(1900年)6月に渡米し、ピアノの製造を学んだのち、築地、月島、そして、君津市外箕輪に八重原工場を設立。ピアノメーカーの西川、山葉と並び、国産ピアノ製造の礎を築きました。ピアノの響板に北海道産のエゾマツを使用するなど、強く“音”にこだわり、その柔らかく優しい音色は“スウィートトーン”と呼ばれ、多くの人々を魅了しました。新吉、新治、新一と三代に渡り、技術は受け継がれましたが、1991年に惜しまれつつ製造工場は閉鎖されました。現在は三代目松本新一氏を中心に、残されたピアノ10台以上に修復を施し、コンサートなどで魅惑のスウィートトーンを奏で続けています。

1865 ~ 1941

上総国周准郡常代村出身
(現・君津市常代)

戦前では「山葉(ヤマハ)」「西川オルガン」と並び
三大ピアノ・メーカーの一つとして称えられ
日本のピアノ黎明期に人気を博した「松本ピアノ」
音楽史に名を刻む歴史的な逸品です

♪公演で使用するピアノ♪



新吉の六男、当時20代の新治が、地元農家の青年たちも職人として活躍していた君津市八重原工場で、昭和12年頃に心血を注いで作り上げたミニグランドピアノです。そのフォルムと音色は、現代でも高く評価されている銘器です。

※当機は三代目松本新一氏により修復が施されています。

主催:公益財団法人君津市文化振興財団/松本ピアノ・オルガン保存会 協力:君津市教育委員会生涯学習文化課



文化ホールのホームページからチケット予約できます!
← <http://www.kimibun.jp/> で をクリック!

※オンラインチケット予約は利用登録(無料)が必要です。



君津市民文化ホール LINE 公式アカウント
右のQRコードから「友だち追加」すると
映画・公演情報がスマホに届きます!

